電話相談：火曜日、土曜日の 10 時～15 時 TEL（052）842 - 8878　面会相談：木曜日（曜日、時間は柔軟に対応）

名家連ニュース

令和 4 年 6 月 3 日（金）
発行：特定非営利活動法人
名古屋市精神障害者家族会連合会
会 長　　堀田　明
TEL/FAX(052)846-5576　NO.873 号

精神科入院「縮減」も削除　厚労省、さらに方針後退

精神科病院の医師が家族らの同意を得て患者を強制的に入院させる「医療保護入院」制度について、厚生労働省は30日、「将来的な継続を前提とせず」「縮減」との文言を有識者検討会の報告書案から削除した。当初は「将来的な廃止」と盛り込んでいたが、方針をさらに後退させた形だ。日本精神科病院協会（日精協）が反発したことなどが要因とみられる。

検討会は6月9日にも報告書をまとめる予定。医療保護入院は精神科の入院患者の半数近くを占め、長期入院が問題になっているほか、国際的に人権侵害との批判が出ている。

厚労省は3月の検討会の資料で、医療保護入院制度について「将来的な廃止も視野に、縮小に向け検討」と記載。日精協の委員の反対意見などを受け、4月には「将来的な継続を前提とせず、縮減に向け検討」と修正していた。この日開いた検討会に示した報告書案では「将来的な見直しについて検討」と、さらに表現を弱めた。

当事者や家族代表の委員からは廃止を求める意見や「今後の方向性を示してほしい」といった声が出た。

日精協は、5月上旬の検討会に山崎学（やまざき・まなぶ）会長が参考人として出席。「同制度を廃止したら、精神医療は完全に壊れる」と主張していた。　（共同通信　市川記者 5/30）

ピアサポート活動紹介 ④

自助グループ　低空飛行 net

http://lowflight.ldblog.jp

はじめまして、ひきこもり・メンタル系の自助グループ、低空飛行 net 代表フジヤマといいます。現在は地下鉄高畑駅の近くにある中川区障害者基幹相談支援センターさんに会場を借りて毎月 1 回、ひきこもり・メンタル系の当事者、支援者が近況や体験を語ったり、情報交換をする定例会を開催しています。

自分自身もひきこもり歴が長く、通院以外には外に出られない、店に入る事もできない時期がありました。社会と接点がない状態から人前に出てくるというのはそれだけでも大変な事だと思いますので、「話すのが苦手な方は座って話を聞いているだけの参加でも大丈夫です」「時間内なら途中参加、途中退室は自由です」といったルールにして、人前に出てくるのが難しい方でもなるべく入りやすい場を作ろうと心がけています。

自分が動けなかった頃を思い返すと、就労とか作業とかプログラムとか「訓練」する場には行ける自信がありませんでした。同じような状況の「仲間」と過去の体験や未来の不安を分かち合う、少しずつ自己開示できるようになる、小さなコミュニケーションの自信を積み重ねていく、そんな段階に時間をかけられたおかげで次に進めたのかなと。就労や社会復帰を目的とする支援ではカバーしきれない所に、ピアサポートの役割があるような気がしています。

もし同じような、「訓練」以前の段階が必要だと感じている方がいましたら、参加・見学の申し込みをお待ちしています。参加申し込みは上記の URL からできます。